

## 学年末確認テスト講評(中3生)

### ●英語●

#### ・中3選抜東大英語(3EJSS)

今回の学年末確認テストは、今まで学習してきた内容を継続して覚えているかが問われています。その場しのぎの勉強しかしてこなかった方は思うように得点できなかったはずですよ。

選抜クラスの皆さんには60点を目標にさせていただいたかった問題ですが、結果はどうだったでしょうか。英語学習においては、反復することが非常に大切です。授業を受け、問題を何度も解いて、忘れるたびにもう一度覚え直し…という復習を繰り返し行う必要があります。勉強は8割まで進んでいるのに、最後の「覚え直し」ができていないせいで、失点が大きくなるという方も多いと思いますので、ぜひ意識的に復習を重ねるようにしてください。

高校1年生ではもう一度同じ単元を、難易度を少し上げて学習します。その単元を予習する際には、中3英語のテキストを振り返りながら学習を進めてください。基本はわかっているから大丈夫!と思っている項目でも、実は理解が足りておらず、時間が経ったらわからなくなってしまうということもありません。不安を感じる箇所が見つかったら、すぐに補強するように心がけてください。将来の大学入試に向けて、ゆるぎない文法の力を早めにつけておくことは、強力なアドバンテージとなります。繰り返し学習することを徹底し、着実に力を伸ばしていきましょう。

#### ・中3英語(3EJS)

今回の学年末確認テストの出題範囲の中心となった単元は、ポイントがつかみにくく難しく感じた人も多かったかと思います。テキストの例文から出題しているものもありましたので、授業の内容とテキストを毎週きちんと復習していた人は得点できたはずですよ。

このクラスの皆さんには50点を目標にさせていただいたかった問題ですが、結果はどうだったでしょうか。50点というと低い点数に見えますが、「理解してほしい部分が50%」ということではありません。授業を受け、問題を何度も解いて、忘れるたびにもう一度覚え直し…という復習を繰り返し行う必要があります。勉強は8割まで進んでいるのに、最後の「覚え直し」ができていないせいで、失点が大きくなるという方も多いと思いますので、ぜひ意識的に復習を重ねるようにしてください。

高校1年生ではもう一度同じ単元を、難易度を少し上げて学習します。その単元を予習する際には、中3英語のテキストを振り返りながら学習を進めてください。英語の学習では繰り返しが非常に大切です。単純ですが、この作業を丁寧にすることが、大学入試に対応できる英語力の基礎を作ります。

## ●数学●

### ・中3選抜東大・医学部数学(3MJSS)

今回のテストでは、高校数学Bの数列の範囲から出題しました。

表面の【1】【2】【3】は基本問題です。本科のテキスト、添削課題をきちんと学習していれば問題はなかったはずですが、残念ながら出来ていない人が多かったです。特に、【1】(4)の階差数列についての問題は解けている人はほとんどいませんでした。確かに階差数列の問題は、階差数列そのものの理解、公式の理解、公式を適用した後のシグマ計算の処理、等をきちんとこなさないと正解に至りません。【1】(4)はじめ、これらの基本問題ができなかった人は必ず解き直しをし、数列の扱いについて今一度理解し直しておきましょう。

裏面の【4】【5】は応用問題としました。いずれも前の小問で出題者が問うたことの「意味」の理解がポイントでした。

【4】では(1)での実験の結果をよく観察、整理し、あるいはと、少し先まで自分で数値を調べて法則性を見つけられるか、がポイントでした。諦めず粘り強く対象を観察することが大切です。

【5】は(1)での誘導が、(2)の漸化式作成の根拠になっていることを理解できれば、後は授業で学んだ3項間漸化式の解法に持ち込めます。ですが、まず(1)の文の読解ができたかどうかで差がつかしました。

相手が言っていることが抽象的でわかりにくかったら、自分で具体的な数値に置き換えたり(例えば等で実験してみる)、絵や図を自分で描きながら理解しようとしたりとする、そういった姿勢が先々の大学での学び、さらに社会に出てからの仕事につながります。もう一度振り返り、自分に足りなかったことを確認してみましょう。

### ・中3数学(3MJS)

【1】は複素数の計算問題でした。

【2】は2次方程式の解についての対称式の問題でした。解と係数の関係を用いれば基本対称式の値が導ける、ということは確実に押さえておきましょう。

【3】は整式の除法の問題で、比較的よくできていました。

【4】は点の移動を題材とした確率の問題で、後半で少し差がついたようでした。

最も大きく差がついたのが【5】でした。ここは絶対値のついた関数のグラフのかき方と、グラフを用いた解の個数の考え方の両方について正確な理解が求められます。きちんと復習して、次につなげましょう。

【6】は【1】の応用的な計算問題で、比較的よくできていました。答はあっても計算に時間がかかった、という人は解説も参考にして計算の工夫を考えてみましょう。